

鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

# かいほう

NO.36



オリックス資源循環 株式会社 寄居バイオガスプラント 埼玉県大里郡寄居町 <https://www.orix.co.jp/resource/>

## 目 次

○巻頭言.....	1	○事業報告.....	6
○神奈川県からのお知らせ.....	2	○会員企業紹介.....	7
○鎌倉市からのお知らせ.....	3	○編集後記.....	7
○研修見学会報告.....	4~5		

## 巻頭言

### 「一年を振り返って」



鎌倉地区産業廃棄物対策協議会

会長 木内 真一

(デンカ㈱ 大船工場)

春暖の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当協議会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り改めて御礼申し上げます。

会誌「かいほう」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年に発行しましたNo. 35を最後に、以後発行を中止としてきましたが、この度漸く本誌No. 36の発行に至りました。この3年間は、全国的に対面での会議や各種イベントの開催などが制限されたことにより、当協議会の運営としましても理事会や定期総会は書面決議を余儀なくされ、また研修見学会等のイベントは中止せざるを得ない状況でした。このような状況下、会誌の発行を見合わせておりました。

本年度の当協議会の活動は、コロナ禍は依然として継続していましたが、年度当初には理事会や定期総会の開催を書面からWebに変更するなど、事務局のご尽力により一歩進んだ活動を実施しました。また、昨年12月には会員企業様および事務局のご理解を得て、3年ぶりとなる対面による会議（正副会長会議、理事会、広報部会）を開催することができました。

さらに、本年2月には「オリックス資源循環株式会社様」のご協力を得て、研修見学会が開催されました。当日は、依然コロナ禍であるにもかかわらず、参加をご判断いただいた多数の会員様によって実現しました。見学に際しては、参加者から活発な質問が多数出され、とても充実した有意義な研修見学会であったと感じました。

なお、オリックス資源循環株式会社様は、埼玉県大里郡寄居町で一般廃棄物を活用した国内最大規模となる設備容量1.6メガワットの乾式バイオガス発電施設を有しており、昨年6月に鎌倉市と事業系一般廃棄物の資源化に関する業務委託契約を締結しております。

コロナ終息は未だ持って不透明ですが、今後は各種活動の再開を見極めながら、より多くの情報を会員企業様にご提供できますよう努めて参りますので、当協議会へのご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員企業様と当協議会のますますのご発展を祈念申し上げ、本誌のご挨拶とさせていただきます。

## 神奈川県からのお知らせ

事業所や倉庫にPCB廃棄物（または使用製品）がないか  
確認してください！！

1. PCB廃棄物（または使用製品）には処分期限があります。

PCB廃棄物（または使用製品）は法律で定められた期限までに処分しなければなりません。

低濃度PCB廃棄物の処分期限 (照明器具安定器・変圧器・コンデンサーなど)	2027年3月31日
--	------------

詳しくは、環境省パンフレット (<https://www.env.go.jp/content/900535227.pdf>)  
をご覧ください。

2. 低濃度PCB廃棄物の処分は所定の事業者へ委託してください。

低濃度PCB廃棄物の処分は、環境大臣が認定する「無害化処理認定事業者」または都道府県市の長から「PCB廃棄物に係る特別管理産業廃棄物処分業許可を受けた事業者」に委託してください。

無害化処理認定事業者ホームページ

(<https://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>)

3. 低濃度PCB廃棄物の主な例は次のとおりです。

低濃度PCBを含む機器や材料には、照明器具の安定器、変圧器（トランス）、コンデンサーのほか、X線装置、橋梁等の塗膜くず、廃油を拭き取ったウエス（雑巾）などがあります。

★高濃度PCBを新たに発見した場合は、至急、神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境課に、ご連絡ください。

高濃度PCB廃棄物の処分期限 (照明器具安定器・汚染物など)	2023年3月31日
(変圧器・コンデンサー)	2022年3月31日

低濃度PCB廃棄物の主な例（進相コンデンサー） →



問合せ先 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター環境部環境課 046-823-0416 (直通)

## 鎌倉市からのお知らせ

日頃から、ごみ処理施策にご協力いただき、御礼申し上げます。

鎌倉市は環境負荷の少ない「循環型社会」を形成するため、市民、事業者、行政が連携・協働して3Rを推進し、「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指しております。

皆様もぜひご協力くださいますよう、お願いいたします。

### ■本市における事業系一般廃棄物の状況について

#### 1. 事業系一般廃棄物の資源化を開始しました。

鎌倉市では新たな減量・資源化策として、「事業系ごみの最適な資源化」を掲げ、混合ごみのまま処理可能な事業者に委託して資源化処理することとし、令和4年（2022年）6月からオリックス資源循環株式会社の乾式メタン発酵を行う施設にて資源化処理を開始しました。

資源化処理開始後、ごみの組成を調査したところ、搬入された事業系一般廃棄物の中には、「プラスチック類」などの資源化に適さないもの（産業廃棄物）が一部混入されていました。

産業廃棄物については、本来市の施設には入れてはならないものですので、皆様におかれましては、ごみの分別のさらなる徹底をお願いいたします。

#### 2 生ごみの資源化を促進しています。

鎌倉市の施設に搬入される事業系ごみの約26%（令和3年度事業系燃やすごみ組成調査）を占める生ごみの資源化を促進するため、排出事業者及び一般廃棄物収集運搬業者に対して食品再生利用事業者での資源化処理をお願いしています。

また、市内事業者のうち生ごみを排出する事業者に対し、事業者における生ごみの自己処理を促すことにより、廃棄物の減量・資源化を図ることを目的として「事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金交付制度」を実施しています。

対象となる生ごみ処理機は、生ごみを乾燥、発酵等の方法により分解し、減量、消滅又はたい肥化することが可能な機器であって、処理能力が1日に10キログラム以上のものです。

詳しくは、ごみ減量対策課までお問い合わせください。

### ■事業系植木剪定材の処理手数料の改定を行います。

事業系植木剪定材の処理手数料は10kgあたり130円としていますが、平成18年（2006年）に現在の価格に設定して以降、処理原価が年々増加していること、また国から事業系一般廃棄物の手数料は処理原価相当額とすることが望ましいとの考えが示されていることを踏まえ、令和5年（2023年）4月1日から事業系植木剪定材の処理手数料を処理原価相当額である10kgあたり210円に改定します。

また、植木剪定材以外の一般廃棄物の処理手数料についても今後改定を検討しています。



## 研修見学会報告

オリックス資源循環株 寄居バイオガスプラント及び寄居工場 研修見学会

■研修日 令和5年（2023年）年2月14日（火）

■参加者 15名

2月14日（火）、鎌倉商工会議所工業部会との共催で、3年ぶりに研修見学会が開催されました。

新型コロナウイルスの感染者は減少傾向にあるものの、抗原検査実施やマスク着用等の感染対策を講じることを条件に開催する運びとなりました。果たして参加の申し込みがあるのか一抹の不安もありましたが、予想をはるかに上回る15名（事務局2名含む）の方が参加されました。皆さんもこの日を待ちわびていたようです。

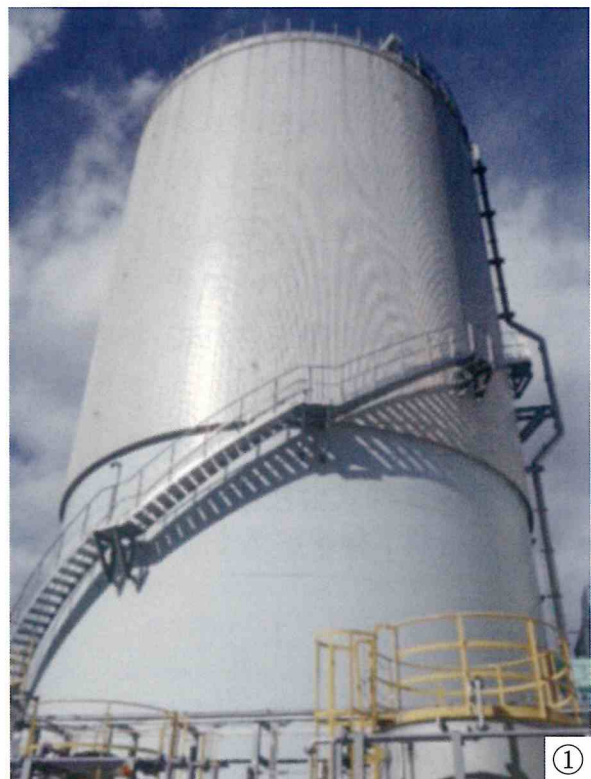
今回はあまり欲張らず、見学先を埼玉県大里郡寄居町にあるオリックス資源循環株式会社様の1か所に絞り、同じ工業地帯にある2つの工場を見学しました。

最初に一般廃棄物の処分が9割を占める「寄居バイオガスプラント」を見学。国内2例目となる乾式メタン発酵バイオガス発電施設です。

構内は5Sが徹底され、搬入口付近を除いては臭気も感じません。

高さ34mのメタン発酵槽（写真①）から生成されるバイオガス燃料により発電される年間電力量は、一般家庭の年間電力量の約3,140世帯分に相当します。

昨年6月から鎌倉市の事業系一般廃棄物を全量処分しており、見学当日も鎌倉市の収集運搬車を偶然見かけました。鎌倉市の委託量は年間7,000トンで、寄居バイオガスプラントの年間受入量の20%を占めます。適切なバイオガス生成のためには、選別残渣（一般廃棄物に混合している廃プラスチック等の異物）の割合を2割以下にする必要があるため、排出事業者として、一層の分別徹底をはかっていく必要があると身の引き締まる思いでした。



続いて、産業廃棄物の処分がメインの「寄居工場」へ。

熱分解ガス化改質方式により100%の再資源化を実現しています。

前述の寄居バイオガスプラントは廃棄物の搬入・搬出ヤード以外は屋外施設ですが、こちらは全て屋内で処分する施設になっているため、ガラス越しとモニター越しでの見学となりました。

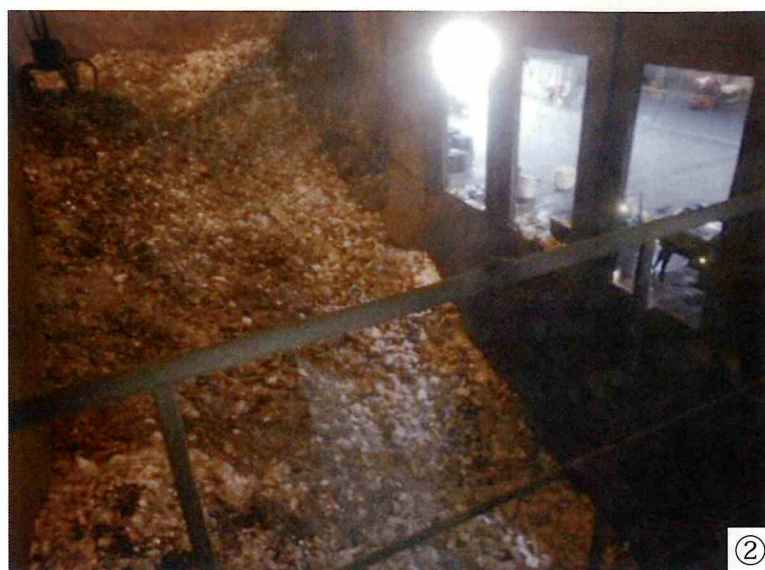
焼却炉を1,200℃から70℃に一気に冷却することにより、過去に苦い経験をしたダイオキシンの発生を抑制する対策が講じられています。

70もの自治体から廃棄物を受け入れており、受入ピット（写真②）の容量は17,000 m<sup>3</sup>にのびります。但し、ごみホッパーから送られる廃棄物を圧縮するスペースが狭いため、建設系廃棄物のような大型サイズは受け入れていません。

なお、寄居工場は、施設の老朽化等の理由で、令和9年（2027年）に建て替えを計画しており、施設を1系列増やして3系列にする予定です。同時に、石綿含有廃棄物の受け入れもできるよう準備を進めているとのこと。

最後に、寄居工場をバックに記念撮影（写真③）をして、帰路につきました。（写真が小さくてわかりにくいですが、皆さん良い表情をされています。）

見学にご協力頂いたオリックス資源循環株式会社様には深く感謝申し上げます。



②



③

菱栄テクニカ(株) 小山 太

## 事業報告

令和4年(2022年)5月19日(木)

◎令和3年度収支決算監査

会 場 菱栄テクニカ(株)、(株)中川電機製作所(事務局の持ち回り)

令和4年(2022年)6月9日(木)

◎正副会長会議 (午後1時～)

◎理事会 (午後1時30分～)

\* オンライン開催

令和4年(2022年)6月24日(金)

◎第43回定期総会 (午後4時～)

\* オンライン開催

令和4年(2022年)8月31日(水)

◎令和4年度 会員名簿を会員事業所に送付、送信

令和4年(2022年)10月18日(火)

◎鎌倉市の事業系ごみ処理に関する説明会

会 場 鎌倉商工会議所(\* オンライン開催も併用)

令和4年(2022年)12月16日(金)

◎正副会長会議 (午後3時～)

◎広報部会 (午後3時30分～)

◎理事会 (午後4時～)

会 場 鎌倉商工会議所

令和5年(2023年)2月14日(火)

◎研修見学会

視察先 オリックス資源循環(株)寄居バイオガスプラント及び寄居工場

◎交流会(研修見学会 終了後)

会 場 華正樓鎌倉店

## 会員企業紹介

創業明治33年、伝統の技術と味わいを守り続けながら、  
今もかわらず鎌倉の地でハム・ソーセージづくりを  
行っています。

私たちのこだわりは、熟練した職人の技術により丁寧に  
一本ずつ手作業でしか醸し出せない味わいを大切に  
していくこと。

本社工場2階には直営店である鎌倉工場店、  
歴史資料館が併設されています。

詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.kamakuraham-tomioka.co.jp/>



### 鎌倉ハム富岡商会



## 編集後記

今年では会報誌の表紙に久しぶりの研修見学会となった、埼玉県にある「オリックス資源循環(株)寄居バイオガスプラント」の工場写真を掲載させていただきました。この施設は一般廃棄物を活用した国内最大規模となる設備容量1.6MWの乾式のメタン発酵バイオガス発電施設です。こちらでは2022年から鎌倉市内から排出される事業系一般廃棄物を再資源化しています。

鎌倉市は高いごみのリサイクル率を誇り、人口10万人以上の市の中で2004年から2008年まで5年連続で全国1位でした。その後も高いリサイクル率を誇り、2018年には再び1位に返り咲いています。鎌倉市では細かくごみ分別することで「燃やすごみ」だったものがリサイクルされて「資源」となっています。今後ともごみ分別、ごみ発生抑制への取り組みが重要となります。

会報誌では当協会の活動内容をお伝えするとともに、鎌倉市のごみ削減の取り組みやその他の情報も掲載出来ればと思います。少しでも皆様のお役に立ていただければ幸いです。また、皆様からの情報、ご意見もお待ちしておりますので、ぜひお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 〈広報部会〉

(株)鎌倉ハム富岡商会

デンカ(株)大船工場

ナスラック(株)ナスラック鎌倉工場

三菱電機(株)情報技術総合研究所

伊東 大介

木内 真一

尾崎 直也

高橋 岳宏